

No.515

2021年2月

牛にちなんだ富山の地名

地名には、動物の名のついたものがよくあります。全国的に見ると、熊、馬、牛、鹿、猪などの動物名が多く使われており、昔からこれらの動物は人との関わりが深かったことを示しています。富山県にも動物名を含む地名が多くあり、その由来を調べてみると、大地とのつながりも見えてきます。今回は丑年にちなみ、地名に「牛」を含む場所を紹介します。

牛ヶ増(富山市)

富山市と岐阜県高山市を神通川沿いになく道(現在の国道41号など)は、江戸時代には富山から塩や海産物などを牛の背に乗せて運ぶ重要なルートでした。この道沿いに、牛ヶ増という場所があります。富山側からすると、平野から山地へ入るちょうど入り口にあたり、この先、道が細く険しくなる転換点です。ここで荷物を運ぶ牛の数を増やしたため、牛ヶ増という地名がつけました。近くにある「風の城」と呼ばれる展望台からは、富山平野を一望することができオススメです。



図1 富山と岐阜をつなぐ道と富山市牛ヶ増 (Google Earthによる鳥瞰写真に加筆)

牛岳(富山市・砺波市)

牛岳は、富山市と砺波市にまたがる標高987mの山です。富山平野と砺波平野を区切る山地に位置しており、周囲に高い山がないため、県内のいろいろな地点から見ることができます。山の名前の由来には諸説ありますが、その一つに、山の形が牛の寝そべっている姿に似ているから、というものがあります。高岡市から見ると、なだらかな稜線が牛の寝姿に似ています。あなたの住む町から、牛岳は見えますか?どんな形をしていますか?雪の多い季節、富山市からは牛岳スキー場がよく目立ち、見つけるポイントとなります。晴れた日に牛岳を探してみましよう。(増瀨 佳子)

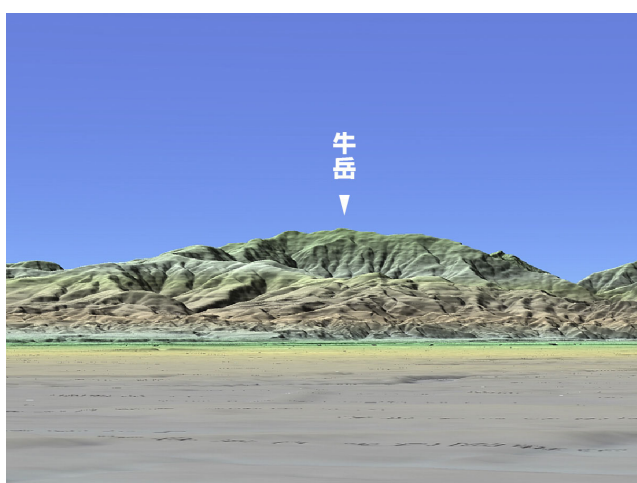


図2 高岡市中部から見た牛岳 (カシミール3Dを使用して作成)

今月のかがくのギモン: 富山市婦中町「牛滑」。この地名はなんと読むのですか? (答えは当館ホームページをごらんください。)